

6月  
定例会



VOL. 37

# いかた 議会だより

平成26年(2014年)8月

発行 愛媛県 伊方町議会

編集 議会だより編集委員会

電話 ㊟ - 0211(内線410)

㊟ - 2662(直通)



## 今回の主な内容

第37回定例会の動き・主な決定事項	2P
平成26年度補正予算・委員会報告	3P
いっぱん質問	4P~5P
議員研修レポート	6P~7P
議会日誌	8P



# 6月定例会の動き

## 第37回定例会は、6月18日～20日開催

報告3件、補正予算4件、契約2件、  
人事4件、発議1件、その他2件  
(すべて原案のとおり可決・決定しました)

### 主な決定事項

#### 報告

平成25年度伊方町一般会計繰越明許費

繰越計算書

翌年度繰越額

1億7,114万4千円

(事業内訳)

自立支援システム改修委託事業

他17事業

平成25年度伊方町一般会計事故繰越し

繰越計算書

翌年度繰越額

2億4,800万円

(事業内訳)

原子力災害対策施設等整備事業

平成25年度株式会社アグリ瀬戸経営状

況報告書の提出

経常収益

経常費用

経常損失

税引後当期損失

4,891万3千円

4,988万8千円

97万5千円

104万6千円

#### 契約

町道灘線橋梁新設工事請負契約の締結

契約金額

1億2,994万5,600円

契約相手 堀田建設株式会社

伊方支店

町道大佐田名取口線道路災害防除工事

請負契約の締結

契約金額

6,318万円

契約相手 堀田建設株式会社

伊方支店

#### 人事

伊方町固定資産評価審査委員会委員の

選任

中井一男氏(中浦)

濱田英昭氏(大久)

堀野満一氏(二名津)

人権擁護委員の推せん

長野千晶氏(小中浦)

#### 発議

海洋環境整備事業の充実と体制拡充を

求める意見書の提出

海洋の環境と船舶航行の安全を守る

海洋環境整備事業を国の役割として充

実すること及び非常災害時に国民生活

を守るため、緊急支援物資の輸送や港

湾機能の維持・早期復旧を行う国の防  
災体制を拡充する旨の意見書を政府に  
提出することを決定

#### その他

議会運営委員会の閉会中の継続調査

議会閉会中においても、議会運営に

係る委員会の調査活動を継続して行う

ことを決定

原子力発電対策特別委員会の閉会中の

継続調査

議会閉会中においても、原子力発電

に係る特別委員会の調査活動を継続し

て行うことを決定





## 平成26年度補正予算 一般会計予算94億547万1千円に

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補 正 後
一般会計(第1号)	587,495	9,405,471
介護保険特別会計(第1号)	5,823	1,261,607
公共下水道事業特別会計(第1号)	1,502	349,832
小規模下水道事業特別会計(第1号)	13,000	71,531

### 一般会計補正予算の主な内容

(単位：千円)

事 業 名	施 工 場 所	事 業 概 要	予 算 額
漁業集落排水ストックマネジメント事業	鳥 津	機能診断・保全計画策定委託業務	5,199
果樹品種等供給力強化事業		事業実施主体：西宇和農業協同組合 動力車、雨よけハウス	30,527
果樹経営支援対策事業		事業実施主体：西宇和農業協同組合 園内道整備、灌水施設整備、 モノレール整備、改植	10,876
鳥獣被害防止対策事業		事業実施主体：伊方町有害鳥獣連絡会 防護柵 L=5,150 m	3,542
鳥獣害防止施設整備事業		事業実施主体：西宇和農業協同組合 鉄筋柵、支柱、電気柵	4,146
愛媛のふるさと愛味(うまい)ものフェア		ダイキなんば店 平成26年12月4日(木)～7日(日)	1,058
佐田岬観光まちづくり事業		周遊導線整備事業、観光まちづくり実施事業	21,800
みなとオアシス建設事業	三 崎	観光案内所、加工調理場、販売所等	152,518
豊の浦漁港J護岸嵩上工事	豊 之 浦	L=60.0 m	7,712
豊の浦漁港けい船護岸新設工事	豊 之 浦	L=70.0 m	45,090
道路ストック総点検委託		路面性状、構造物及び付属物点検	30,400
橋梁補修事業		調査委託2橋、補修工事3橋	11,700
消防ポンプ格納庫等新築事業	中 之 浜 河 内 豊 之 浦 塩 成 田 部	第1分団2部 新築、監理委託 第2分団1部 新築、監理委託 第3分団4部 新築、監理委託、舗装 第8分団1部 新築、監理委託 第9分団2部 新築、監理委託、詰所	88,225
津波ハザードマップ作成		A3カラー 7,000部	4,169
地区体育館耐震補強設計委託	三机・大久	三机地区体育館、四ツ浜地区体育館	4,095
スポーツトラック購入事業	三 机	瀬戸球場1台	3,772

### 委 員 会 ( 協 議 会 ) 報 告

月 日	委員会(協議会)	概 要
4月23日	議会運営委員会	第34回臨時会の運営について
6月5日	議会運営委員会	第37回定例会の運営について
6月12日	議員全員協議会	第6期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画について 佐田岬観光まちづくり計画及び観光交流拠点施設計画について 指定管理施設(伊方町健康交流施設 亀ヶ池温泉)の不祥事に関する報告について 大成漁港漁村再生交付金事業関連建物補償について 二見小学校学校統合計画の進捗状況について 安定ヨウ素剤の事前配布について 平成26年度伊方町一般会計補正予算(第1号)概要

# いっばん質問



篠川長治議員

Q、シルバー人材センターの設置を提言。

A、社会福祉協議会に「シルバー瀬戸」の改善取り組みを働きかける。

を提言する。

【答】シルバー人材センターは「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」により、市町村の区域ごとに1つに限り設置されることとなっており、高齢者の自主的な団体で概ね60歳以上の定年退職者や家庭の一線を退いた人たちが対象となっている。

構築することは非常に重要な課題であると認識している。課題解決については、伊方町社会福祉協議会が中心となり、「シルバー瀬戸」の関係者や町内老人クラブ会員等との協議を進め、町内全域でのシルバーセンターの事業展開が可能となる取り組みを進めていただくよう働きかけたい。

今後、社会福祉協議会が取り組みを進めるうえで、町に対して支援要請があれば積極的に支援を行いたい。(町長)

【問】今年、2014年は団塊の世代(1947〜1949年)生まれが65歳以上になり、その人口は約660万人。1951年生まれまで範囲を広げると1000万人を超えと言われ、この団塊世代の方々が経済活動の最前線から引退し始めている。

平成42年には、日本の労働人口は5000万人を切ると見られ、経済全体の潜在成長率に大きく影響し、このままでは日本経済が衰退すると言われている。また、衰退を避けるためにはシルバー人材の活用は避けて通れないとも言われている。

日本人の働く意欲は衰えず、ある民間調査によると65歳になってからも働き続けたいと答えた人が70%を超えたそうである。

これらのことから、今後必要なのはシルバー人材を活かす社会の仕組みが大切になると思う。

隣接の八幡浜市には、「社団法人

八幡浜シルバー人材センター」があり、定年退職後における高齢者の就職機会の増大とその福祉の増進を図り、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に業務を行っている。現在165名の会員が登録されており、希望に応じた就業として臨時的で短期的な業務の機会を確保し提供している。これらは、高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進につながっているようである。

シルバー人材センターの一般的な仕事としては、公園等の清掃業務、技能関連では大工、左官工事、襖、障子張り、ペンキ塗り等の軽作業。また、社会福祉関連では家事援助などが考えられる。旧瀬戸地区では、シルバー人材センターを社協(瀬戸支所)で運営していると聞いている。そこで、社会福祉協議会と連携してシルバー人材活用のための「人材センター設置」

県内でのシルバー人材センター設置状況は、20市町のうち17市町で、伊方町でも旧瀬戸町で平成16年に設立された「シルバー瀬戸」が現在20名の会員で活動を続けている。その事務局を伊方町社会福祉協議会(瀬戸支所)が担っている。しかし、この「シルバー瀬戸」は瀬戸地域に居住する概ね60歳以上の高齢者に限定されており、町内全域の高齢者を対象とした組織体制になっていない状況である。

シルバー人材センターの活動を町内全域に拡大するとなれば、既存の「シルバー瀬戸」をどのように取り扱い対応していくかが今後の課題となってくる。

少子高齢社会が一層進展する今日、高齢者が意欲と能力を十分に発揮して就業による作業等を通じ、地域社会に貢献できるシステムを



シルバー瀬戸 公園清掃風景



高岸助利議員

Q、観光産業の構想・プラン、そして目玉は。

A、佐田岬の地域資源を活用した「佐田岬観光まちづくり計画」に取り組み。

問 伊方町も、超高齢化・少子化時代に入り、将来の産業について悲観的にならざるを得ない状況であると私は認識している。

基幹産業である一次産業の活性化、高齢化に対応した福祉の充実など手を抜く事のできない課題も大事であるが、新たな観光産業を取り入れ若年世代の働く場所を確保、提供することで将来の展望を明るくすることが肝要であり、働く場所づくりの産業政策と将来に向けて間断なくバトンタッチできる人口政策は、「まちづくり」の基本であると思う。

今、全国の各自治体では地域の活性化を目指し、町おこしの知恵を出し合っている。

私は昨年9月、初めて船で佐田岬灯台の蓄養池へ行く機会があった。そこには、沖に豊予海峡、北東に瀬戸内海、南に太平洋へと続く宇和海の大自然のパノラマが広がっていた。

その蓄養池は、満潮で約3m、干潮で1.5mの水深が確保でき、たてよ

こ50m、60mの自然に恵まれた蓄養施設であるが、現在、遊休施設になっており宝の持ち腐れ状態である。

一提案ではあるが、その蓄養池に遊歩回廊を造ることによりたちまち天然の水族館が忽ち出来る。

一般の水族館と違い、訪れた人が展示品を見るのではなく天然の魚介類が訪れた人を見るところという非常にユニークで大きなキャッチフレーズのある施設になると思う。知恵を出し合い少しの手を加える事により、必ずや原石は光り輝き大きな目玉となって観光産業の柱に成り得ると思う。

そこで、次の3点について町長にお伺いする。

①町長が考えている観光振興策の構想、プランは。

②佐田岬灯台（蓄養池）に一度足を運ぶ気はあるか。

③観光産業の目玉として水族館を整備するための調査費の予算計上は。

答 観光振興は、地域の活性化を実現する方法の一つとして、交流人口の拡

大に重要な役割を担っており、地域産業に様々な経済波及効果を生み出すだけでなく、本町の歴史や文化に対する町民の理解を深め、町民が地域に対する誇りと愛着を持って、活力あるまちづくりの実現を促進するものであり、新たな産業の創造、雇用の創出、観光資源の有効活用など町の特性に応じた地域資源を活かした「まちづくり」への取り組みが重要と考えている。

この6月に「佐田岬観光まちづくり計画」を取りまとめテーマを「しあわせ」と設定し、佐田岬の豊かな自然や食、歴史、文化にあふれた町内の観光資源に磨きをかけ、イメージアップを図り、魅力的な観光ルートを形成し、伊方町を訪れた人との交流事業を展開し、佐田岬に暮らす人、佐田岬を訪れる人お互いが「しあわせ」になる観光の仕組みづくりに取り組んでいく。

1点目の質問であるが、現時点における観光振興策の構想、プランは次のとおりである。

①三崎港の「みなとオアシス計画」では（観光案内所、加工調理場、公衆トイレ、一次製品の直売所施設）を平成26年度内に完成する予定である。

②亀ヶ池温泉の機能向上施設として、簡易な宿泊施設の湯治場、そして、サ

イクリングやウォーキングを活用したヘルスツーリズム事業、また、地域では解決できない課題を体験プログラムとして提供するソーシャルツアー等の事業展開を予定している。

③国道197号から町内の観光スポットを安全に周遊できるお勧め（サイクリング・ウォーキング）コースの整備、そのための案内表示板、地域ステーションの整備、地域ガイドの育成等を考えている。

2点目の質問については、私は佐田岬灯台へこれまでに二度ほど出向いている。灯台周辺の景色は素晴らしく、町が最も力を入れている観光資源の一つである。平成29年度には、灯台点灯から100年目を迎えるため灯台活用に関するアイデアを募集し、その中から継続実施が可能な事業を「100周年事業」として実施したい。

3点目の蓄養池を水族館として整備、そしてその調査費予算の質問であるが、この蓄養池の利活用については、三崎漁協や愛媛県との協議が必要であり、容易く協議が整うとは思わないが、関係機関との協議が整った時点で、全体構想の中に取り入れ検討を重ねる。

（町長）

# 議員研修レポート

7月31日、松山にて「平成26年度第1回町議会議員研修会」が開催され、当町からも議員11名と事務局2名が参加しました。参加者を代表して、2名の議員の研修レポートを紹介します。



研修会風景



清家慎太郎議員

二元代表制の役割を担う議会は、しっかりと機能しているのか。これは議会に対し、多くの自治体の住民の皆様が感じる所だと思います。では、求められる議会の機能とは何かを考えますに、1点目にチェック機関としての機能。この研修会でも名前が出ましたが、夕張の二の舞にならないようにしっかりと行財政のチェックをするという事。2点目に住民の皆様の代表者であり代弁者としての機能。行政では目の行き届かぬ事柄について、住民の方々の様々なご要望なりご意見を代弁者として行政サイドにしっかりと伝えるという事。3点目にどんな活動をしているか、またご要望等を伺う機会としての情報公開の場を設けるという事。主にはこの3点ではないかと思えます。今回の事例発表でもこの3点の強化のための取



り組みが主であったように感じました。例を上げると、チェック機能強化策として政策討論会・常任委員会の調査研究。代表者・代弁者としての機能強化として議員間の政策討論、全員協議会の毎月開催。情報公開の機能強化策として、ネットやTVなどの議会中継、議会報告会の開催、読みたくなる議会だよりにするための工夫等が挙げられていました。

伊方町にとっても、議会の機能強化策として検討すべき価値のあるものが多かったですので、今後の活動に活かしていきたいと強く感じました。



小林絹久議員

今回の研修会は、備えあれば憂いなし「南海トラフ地震に備えて」というテーマで香川大学客員教授の乃田俊信先生の講演を拝聴いたしました。先生は自衛隊の出身でまた防災関係の行政経験も豊富で、防災関係、地震等について具体的に分かりやすく公演を頂きました。その中でも重点をおいて話された地震を想定した防災意識等についてご紹介したいと思います。大災害に遭った時、生と死は紙一重で、災害から身を守る3大ポイントは、1 正しく知る。2 正しく備える。3 正しく判断し、行動する。以上のことが大切である。しかしながら、人は何もない平穏な時に災害のことを思ったり、備えたりするのが非常に苦手で「人間は何度も同じ災害に遭っても、決して利口にはならぬものである」と明治の物理学者、寺田寅彦の言葉を引用し警

告をされてきました。確かに近い将来（2025年から2045年の間が高い確率で）発生すると言われていた南海、東南海地震は、愛媛県下強いところで震度6強から7、津波においても広域でも3.0m以上になると想定されています。南海地震の被害の想定は、地盤の隆起沈降（港や埋立地の崩壊）、大規模な斜面崩壊、大津波等が上げられており、どれもとっても私たち伊方町の地形に当てはまる被害です。おそらく誰もが経験の無い地震となり、最悪の場合震度6強7では古い建物はほぼ全壊し、地盤の悪い斜面は崩壊し、津波では平野部はほぼ流されてしまうと想像できます。しかしいたずらに恐がるのではなく、先生のお話にあった先程の3大ポイントに加えて「正しく恐がることも大切」だと話されています。つまり危険の度合いを正しく認識し、危機を危機として冷静に認識し、日頃からその時どんな状況になるかをイメージアップすることも大切だということ。私たち伊方町では、情報

の提供、防災訓練、避難道の整備等が積極的に進められていますが、何よりも大切なのは私たち住民一人一人が、防災意識を持ち防災対策の基本理念である「自助 共助 公助」の精神を柱に、聴き慣れた言葉ですが「備えあれば憂いなし」を忘れることなく、明日からではなく今日から備えることが大切だと改めて痛感をいたしました。南海地震は必ず起きる！地震は避けられないが震災は避けられる！今日から備えることが大切だと！そんな言葉が印象的でした。



香川大学客員教授 乃田俊信先生

## 町内めぐり



町内の小学3年生が議場を見学しました。  
熱心に話を聞いて、議場を後にされました。



# きなはいや伊方まつり 2014



今年もきなはいや伊方まつり2014が開催され、多くの方が来場されました。毎年恒例の魚のつかみ取りが開催され、子供たちが大きな魚を一生懸命探っていました。



## 議 会 目 誌

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 4月8日 小・中学校 入学式                | 24日 生涯学習センター運営委員会                      |
| 9日 三崎高等学校 入学式                 | 町老人クラブ連合会総会                            |
| 15日 例月現金出納検査 (監査委員)           | 26日 八幡浜地区施設事務組合議会臨時会                   |
| 23日 議会運営委員会                   | 27日 町人権対策協議会・人権教育協議会定期総会               |
| 議会だより編集委員会                    | 29日 県消防操法八西地区大会                        |
| 5月1日 県人権対策協議会第54回定期大会 (松山)    | 30日 町遺族会総会                             |
| 7日 第34回臨時会                    | 7月4日 国道197号地域高規格道路建設促進期成同盟会定期総会        |
| 14日 平成26年度第1回伊方町区長会           | 8日 第1回花橋を守る会                           |
| 15日 NPO法人佐田岬ツーリズム協会通常総会       | 三崎高等学校教育振興会第1回理事会                      |
| 16日 例月現金出納検査・定期監査 (監査委員)      | 10~11日 第61回四国地区人権教育研究大会 (松山)           |
| 町商工会通常総代会                     | 12日 大洲市名誉市民故西田司氏大洲市葬                   |
| 19~20日 第9回全国原子力発電所立地議会        | 15~16日 全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会・定期総会 (東京) |
| サミット実行委員会 (福井)                | 17日 第18回伊方町中学生海外派遣団結団式及び壮行会            |
| 22日 全国原子力発電所所在市町村協議会総会 (東京)   | 22~23日 県町村監査委員協議会研修会 (松山)              |
| 27~28日 第39回町村議会議長・副議長研修会 (東京) | 23日 「きなはいや伊方まつり2014」第2回実行委員会           |
| 29日 「きなはいや伊方まつり2014」第1回実行委員会  | 27日 きなはいや伊方まつり2014                     |
| 6月1日 町消防操法大会                  | 28日 県後期高齢者医療広域連合議会第2回臨時会 (松山)          |
| 3日 県町村議会議長会第1回定例会 (松山)        | 郡障害者協会総会                               |
| 4日 伊方町融心会定期総会                 | 28~29日 決算審査 (監査委員)                     |
| 5日 議会運営委員会                    | 29日 町見地区戦没者慰霊祭                         |
| 7日 第19回きらまつり                  | 30日 決算審査 (監査委員)                        |
| 10日 水道事業会計決算審査                | 31日 第1回町議会議員研修会 (松山)                   |
| 例月現金出納検査 (監査委員)               | 8月3日 瀬戸の花嫁まつり                          |
| 12日 議員全員協議会                   | 4~5日 決算審査 (監査委員)                       |
| 13日 町人権対策協議会・人権教育協議会役員会       | 5日 町人権・同和教育地域推進員研修会 (伊方地域)             |
| 八幡浜地区防犯協会通常総会                 | 7~8日 決算審査 (監査委員)                       |
| 15日 伊方町スポレク祭2014              | 8日 伊方地区忠霊塔戦没者慰霊祭                       |
| 18日 第37回定例会                   |  |
| 20日 第37回定例会                   |  |